



くろほねっ子

平成30年度
黒保根小学校 学校だより
第2号
平成30年4月16日(月)
〈文責〉校長

こんな子どもたちを育てます

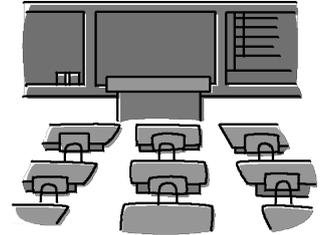
◎学校教育目標

①基本目標

郷土を愛し、豊かな心情と創造的な知性を持ち、健康でたくましい、実践力のある「生きる力」を身に付けた子どもを育成する。

②具体目標

- ア 自ら学ぶ子(主体的な意欲と創造的な知性)
- イ 思いやりのある子(文化、自然、人間を愛する心)
- ウ たくましい子(強い意志と自律心、健康で優れた体)



③目指す子ども像(スローガン)

みずから学び、みがきあい(知)
やさしい心と思いやり(徳)
まけない強さとたくましさ(体)

を身に付けた「くろほねっ子」の育成

ここを頑張ります！

◎学校経営の方針と努力点

○基本方針

- ①信頼される学校づくりを推進します。
- ②明るく、楽しく、元気な学校づくりを推進します。
- ③何事にも一生懸命取り組む子を育成します。

○具体的な努力点

①特色ある学校経営の推進

- ・中学校との連携をより深め、9年間を見通した教育課程について研究する。
- ・西町インターナショナルスクールとの交流を生かした国際理解教育を推進する。
- ・学校だよりや学年通信、Webページを通し、家庭や地域に積極的に情報を発信するなど、開かれた学校づくりを推進する。

②「生きる力」を育む指導の充実

- ・本校の課題を明確にし、基礎基本の定着や応用力、活用力の育成、学習ルールの定着、家庭学習の改善に向けた具体的な取組を進める。
- ・心の居場所となる学級づくりを推進し、豊かな人間性の育成に努める。
- ・体育の授業や業間活動を工夫し、健康の増進と体力の向上に努める。
- ・「コツコツ貯金」を活用し、家庭と連携して基本的な生活習慣を身に付けさせる。

③家庭・地域との連携、協力

- ・学校支援センターの機能がより一層充実するよう工夫する。
- ・地域の施設や人材を活用し、地域の教育力を生かした教育活動に取り組む。
- ・学校と地域が一体となった運動会を通して、地域との絆を深める。



今年度も、保護者の皆様や地域の皆様と力を合わせて、様々な面から子どもたちを支え、支援していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

＝第1週の学校行事から＝

先週は、年度はじめの行事がたくさんありました。

○ファイトタイム(11日)

企画委員の人たちが、遊具の使い方について説明してくれました。全国の小学校では、遊具の使用時の事故が毎年起こっています。黒保根小の子どもたちも、休み時間には元気に外で遊んでいます。正しい使い方、ルールを守った使い方で、ケガをしないように、楽しく遊んでほしいと思います。



○交通安全教室(11日)



【内輪差を体験】



【石関巡査部長さんの話】

春の交通安全運動(4月6日～15日)に合わせた交通安全教室、今回は道路の横断の仕方、交差点での約束、バスの内輪差などについて学習しました。また、水沼駐在所の石関巡査部長さんに、実際に急ブレーキの実験をしていただき、自動車が急には止まることができないこと

を確認しました。昨年度の桐生市内の小・中・高校生の交通事故は60件、そのうち26件は1学期中に起きているそうです。交通事故0(ゼロ)が続くよう、今後も折に触れ話をしていきます。

○なかよし班編成(13日)

今年度最初のなかよし班の集まりもありました。

自己紹介の後、班長さん、副班長さんのあいさつがあり、担当の先生や6年生を中心に、1学期の活動計画などについて話し合いました。

今年度は通常の集会の他に、なかよし遠足も予定されています。話し合いの様子を見ていて、今後の活動が楽しみになりました。



＜班長さん・副班長さんを紹介します＞

	班 長	副 班 長
1 班	関口 真歩さん	齊藤 裕稀くん 高橋 早人くん
2 班	星野 羅香さん	栗原 姫華さん 坂本 祐希くん
3 班	相川 陽向さん	小林 来夢さん 金子 颯馬くん
4 班	高沢優里菜さん	森田 航正くん 小林 千陽さん

＝ 校長室から② ～成長～

9日の午後、中学校の入学式に参加させていただいた。半月前まで小学校にいた子どもたちが、凛々しい制服姿で、すっかり中学生らしくなり、頼もしく見えた。

小学校でも、先週の行事では、6年生がリーダーシップを発揮する姿が見られた。通学班の確認やファイトタイム、なかよし班編成、いずれも6年生が積極的に下級生をリードしていた。1年間で、それぞれの子どもたちが成長する姿が見られることを楽しみに、子どもたちと一緒に頑張りたい。(柴塚)

